

事 務 連 絡

平成29年2月7日

都道府県家畜衛生主務課長 殿

農林水産省消費・安全局
動物衛生課家畜防疫対策室長

韓国における口蹄疫の続発について

本日、韓国家畜衛生当局から、一昨日（2月5日）の同国忠清北道報恩郡の乳用牛飼養農場に続いて、同国全羅北道井邑市の韓牛飼養農場にて口蹄疫（O型）の発生が確認された旨の連絡がありました。

また、韓国当局は、忠清北道報恩郡の乳牛農場で発生した口蹄疫ウイルスの遺伝子を解析した結果、直近3年に韓国国内で発生した口蹄疫ウイルスとは異なる系統のウイルスであり、東アジア、中東及びロシアで確認されたウイルスと近いことが確認された旨を公表しました。

上記については、詳細な情報が分かり次第、引き続き情報提供していく予定ですが、同国への新たなウイルスの侵入事例が確認されたことは、地理的に近い我国への本病ウイルスの侵入リスクが極めて高い状況にあることを意味します。つきましては、「韓国における口蹄疫の発生について」（平成29年2月6日付け28消安4885号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知。）でお願いしたとおり、畜産関係者への情報提供、指導の強化（特に、飼養家畜の異状の早期発見・通報）の徹底をお願いします。